

カトリック

広島教区報

No. 68

カトリック
広島司教区

発行責任者
広報担当
服部大介神父

広島市中区鞆町 4-42
広島司教区館内
TEL (082) 221-6017



復活祭のよろこび

カトリック広島司教区長 三末 篤實 司教

主の復活祭をおよろこび
申しあげます。

四旬節を通して、復活祭
を迎える準備をして参りま
したが、皆様にはこの大祝
日を大きなよろこびと希望
のうちに迎えになられた

ことと思いません。この復活
の大祝日は、カトリック教
会のすべての教えの中で最
も重要な大切なお祝い日で
す。

聖パウロはその手紙の中
で、「もし主の復活がなか
ったとすれば、私たちはこ
の世でもっともあわれな者
で、偽り者となるでしょ
う」と述べています。し
かし、キリストは預言の通
り、三日目に復活し、弟子
たちと多くの人々に現れ、

ご自分が神であることのあ
かしをされ、教えを完成さ
れました。私たちの人生の
意義は、キリスト復活の意
義を生きたることにあること
を忘れてはなりません。

今年中には、日本の一八
八名の殉教者が列福される
ことになっていきます。この
ことは、私たちにとって特
別なよろこびですし、神の
慈しみとお恵みに心からの
感謝を捧げたいと思いま
す。

広島教区は今年のモツ
トーとして、「平和の使徒
となろう」を掲げ、サブ・
テーマとして「殉教者を想
い、自分の信仰を生きる」
を掲げています。殉教者は
キリストの復活のあかし人

です。命をかけてそのあ
しをなさいました。日本で
の列福式は長崎で行われる
ことになっていきますが、た
くさんの皆さんが参加され
ますように希っています。

さらに、九月二十二日か
ら三日間、広島平和記念聖
堂を中心に、「正義と平和」
全国集会が開催される予定
です。一人でも多くの皆様
の参加を希望しています。

これからの教区のあゆみ
はこの復活祭から始まりま
す。教区が一丸となって、
神のみ国の発展と完成に向
かって邁進して参りましょ
う。

皆様の上に、神の祝福を
お祈りいたします。

二〇〇七年度 司祭人事 (四月十五日)

広島教区長 三末 篤實 司教
司教総代理 齊藤 眞仁 神父

本部事務局 西江 和司 神父
広島司教館 野間 重信 神父
姜 祐顕 神父
平和の使徒推進本部事務局 肥塚 倅司 神父

広島地区 齊藤 眞仁 神父
地区長 バンガンスベルゲ神父
磯町教会 ジェニー 神父
観音町教会 澤野 耕司 神父(休養)

祇園教会 齊藤 眞仁 神父
呉教会 山根 敏身 神父
廿日市教会 松井 紀直 神父
三篠教会 長谷川 儀 神父
三次教会 (責任) 齊藤 眞仁 神父
翠町教会 (担当) 肥塚 倅司 神父
三原教会 (担当) アルバレス 神父
尾道教会 (担当) 西江 和司 神父
福山教会 アルナルド 神父

向原教会 (担当) 野中 泉 神父
松江教会 原田 豊己 神父
岡山・鳥取地区 関 棟國 神父

岡山南教会 後藤 正史 神父
榑灯センター 早藤 正史 神父
笠岡教会 豊田 稔 神父
倉敷地域共同宣教司牧 萩 喜代治 神父
倉敷・玉島・水島教会 ミッシェル 神父
スメット 神父

玉野教会 ムッシュ 神父
津山教会 レネ 神父
倉吉教会 プレイズ 神父(予定)
鳥取教会 萩 喜代治 神父
米子教会 金 起登 神父
山口・島根地区 ワーレ 神父

地区長 関 亮一 神父
サビエル修道院 瀧井 英昭 神父
佐々木良晴 神父
佐々木良晴 神父
ラコルサーナ修道士 佐々木良晴 神父

サビエルセンター プロット 神父
山口教会 松村 信也 神父
防府教会 カンガス 神父
萩教会 田丸 篤 神父
岩国教会 父路門ランフ神父
周南地域チームミニストリー モラーレス 神父
徳山・下松・光・柳井教会 パリヨヌエボ神父

宇部小野田ブロックチームミニストリー アルテイリヨ神父
宇部・北若山・高千帆教会 アレックス 神父
三喜田虎太 神父
西山 和男 神父

下関ブロックチームミニストリー オレギ 神父
細江・彦島・長府教会 リントホルスト神父
小崎 次郎 神父
中村 健三 神父
高橋 義博 神父

下関労働教育センター 林 尚志 神父
出雲教会 薄田 昇 神父
津和野教会 三宅 秀和 神父
浜田教会 木村 信行 神父
益田教会 モレノ 神父
広島学院 牛尾 幸生 神父

長束修道院 李 聖一 神父
外川 直見 神父
松島 忠雄修道士
山根 敏身 神父
ラフオント 山根 敏身 神父

エリザベト音大 ラフオント 神父
近藤 信 神父
河村 剛修道士
マクガレル 神父
ベニテズ 神父

庚午センター ペルタニヨリオ神父
清水 弘 神父
塚田 健統 神父
ホントレー修道士 牧田 真一修道士
ヘンデリクス修道士

愛徳修道士会 愛徳修道士会

テーマ
『平和の使徒となろう』
— 殉教者を想い、自分の信仰を生きる —

日本カトリック正義と平和協議会の要望を受け、広島教区宣教司牧評議会は答申によって、広島教区長・三末篤實司教は、二〇〇七年九月に「正義と平和」全国集会広島大会を開催することを決定した。そして、司教宣言に基づいて設立された平和推進チームを中心に実行委員会を立ち上げ、このたび大会の概要を発表した。詳細は後日発表予定。

「正義と平和」全国集会広島大会
2007年9月22日(土)・23日(日)・24日(月・祝)
世界平和記念聖堂を中心に

そこで、三日目の分科会

まず、この全国集会は「正義と平和協議会」の大会や集まりではないことを心に留めるべきであらう。全国各地で正義や平和のために活動しているカトリック信徒を

中心とした人々の集まりである。

は自殺やいじめ、そして食の問題など身近なテーマに地道に取り組んでいる人々によって進められる。この全国集会はここ数年、年に一回全国各地で開催されており、広島教区でもすでに二回ほど開催されている。なお、広島教区民にとっては、特に二十三日(日)を重要な位置付けとすることが呼びかけられている。

【広島大会で目指すもの】

今回の全国集会のテーマおよびサブテーマは、広島教区の年間テーマと同じものとし、現在の広島教区の動きと方向性に沿うものとした。そして、特に殉教者の精神に習う信仰の生き方を求めることを目的として

いる。

そのために、集会の二日目のシンポジウムには、司教団が戦後六十年に発表した『非暴力による平和への道』今こそ預言者としての役割と」とともに、日本カトリック司教協議会の社会司教委員会編の小冊子『信教の自由と政教分離』を執筆した四人の司教たちを招き、その熱い思いを伝えて頂くよう、現在交渉中である。

『信教の自由と政教分離』のテーマと執筆司教は次のようになっていく。

Vol. I 「戦前・戦中と戦後のカトリック教会の立場」 (岡田武夫 東京教区大司教)

Vol. II 「自由党新憲法草案を検証する」 (高見三明 長崎教区大司教)

Vol. III 「『国是』と迫害」 (谷 大二 さいたま教区司教)

Vol. IV 「信教の自由と国家」 (溝部 脩 高松教区司教)

なお、集会一日目には広島市内や大和ミュージアムなどの現地学習も予定されている。

参加よびかけ

私たち広島教区では、二〇〇五年十一月に『広島教区代表者会議』が開かれました。

そしてこの会議で出された課題と、それまでの過程から出てきた提言を受けて、二〇〇六年復活の祝日、広島教区長ヨゼフ三末篤實司教は、私たち広島教区の宣教司牧活動の基本方針「平和の使徒となろう」を、宣言しました。

まさにこのような時、カトリック司教協議会社会司教委員会所属の日本カトリック正義と平和協議会からの要望と、二〇〇六年九月十日開催の広島教区宣教司牧評議会(臨時)の決議を受けて、二〇〇七年度の第三十三回カトリック「正義と平和」全国集会を、私たちの広島教区で教区民あげて開催することとなりました。

司教宣言に基づいて設立された、「平和」推進チームを中心にして、「正義と平和」全国集会を開くことは、広島教区にとどまらず、教区を超えて、「正義と平和」に関心をもっている人々との連携を築き、「平和の使徒」の輪を拡げていくためにも大きな意味があります。

さらに今年二〇〇七年は、日本の全教会あげてペトロ岐部と一八七殉教者の精神を現代に生かす年でもあります。広島教区民の召し出しである『平和の使徒』を実社会で実践しようとすれば、これら殉教者の生き方に深く重なってきます。二〇〇七年の広島教区の年間テーマを「平和の使徒となろう」殉教者を想い、自分の信仰を生きる」とされたのはこのためです。

人ごとのような意識や関心のなさ、言葉や口先だけの祈りや行動だけで終わらすのではなく、神の働きの協力者として平和を築くため、ともに歩んでいきましょう。

二〇〇七年二月十九日

広島教区司教 ヨゼフ三末篤實
「正義と平和」全国集会広島大会実行委員会

平和の使徒推進本部の動き

昨年四月に発足した平和の使徒推進本部は、今年三月までに八回の本部会議を開き司教宣言の実現を図ってきた。そして教区民の司教宣言の理解と取り組みを促進させるために小冊子発行を準備している。また「平和」「養成」「きょうどう」の各推進チームが、それぞれ優先課題に取り組みんできた。

小冊子『平和の使徒となろう』の発行

小冊子には、『司教宣言』とその具体的取り組みさらにガイドラインや解説などのほかに、教区の略史と、これまで出された「広島教区の祈り」や「司教メッセージ」が掲載される。したがって、これは広島教区民の『保存版』でもあるが、何よりも教区民一人ひとりがこれを活用してくださることを願っている。そして、推進本部はこれをプロジェクターによる説明や、ホームページ上で公に発表したり、研究に活用するとしている。

小冊子はB5のカラー版で、五千部を作り教区報と同じように無料配布するた

めに、二〇〇七年四月八日付で発行される予定。

「平和推進」チームの動き

「平和推進」チームは今年の九月に開催される「正義と平和」全国集会広島大会の中心となつて動いており（二面に掲載）、八月の平和行事に関しても「平和行事実行委員会」を全面的に支援するとしている。

「きょうどう推進」チームの動き

教区の宣教・司牧における「きょうどう」はこれまで、どちらかと言えば司祭側からの考えが中心であったが、これからは特に信徒側からの意見を求めてゆく方向性が、三月十七日の

「きょうどう推進チーム」会議のために出されている。つまり、司祭間のきょうどうから、司祭・信徒のきょうどうへ進める必要が指摘されている。そして、キリシタン迫害によつて、司祭不在の教会がすばらしい活動を続けていたことを参考にするため、これに関する詳しい資料を作成し、活用することも検討されている。

「養成推進」チームの動き

「養成推進」チームは、「みことばの奉仕者」の養成からはじめることを決定し、これを二月七日の教区司祭評議会で説明し、まず司祭たちの了承を受けた。なお同会議で、「終身助祭」の養成については司祭団が受け持つこととなった。

また福岡県宗像の黙想の家で行われる研修会の案内を各地区宛てに発送し、参加費等の捻出を各地区にお願いすることとなった。

その他

本部としての一年間の活動評価を準備している。

迫害下の教会

『殉教者を想い、ともに祈る週間』からの抜粋

「ミゼリコルディアの組」を通して、当時の教会は社会活動、社会正義、愛のわざといった現代にも通じる活動を展開していきました。

「サンタマリアの組」や「ご聖体の組」は、教理教授から死者の埋葬に至るまで、教会独自の活動を多く行っていました。……司祭が不在であっても信徒自らが教会共同体を守っていました。

一六一二年、有馬で迫害が始まると信者たちは城下町に新しい組、「殉教の組」を結成しました。これは、殉教できるように祈り、苦行をもって神のおん助けを求める信心会でした。この大人の模範に倣って少年たちも「子ども殉教の組」をつくり、大人に負けないほどの熱心さで祈り、苦行に励んでいました。

「ダミアンの輪」(仮) 設立!

設立!

活躍した視覚障害の伝道師。

教区の視覚障害者信徒が中心となり準備を進めてきた、「ダミアンの輪」(カトリック広島教区視覚障害者と手をつなぎ共に歩むつどい)が四月十五日に設立総会を開き、五月二十日岡山教会で創立式を行う。ダミアンは、このたび福者に挙げられる殉教者で、山口で

「平和の挨拶」のときに、差し出した手が宙に浮いてしまふという視覚障害者の声がある。これからは、差し出された手をしっかりと受け止めていきましょう。

金祝・銀祝 おめでとうございます

六月十七日(日)に司教叙階記念と金銀祝のお祝いカテドラルで行います。

《金祝》

イエズス会

Fr. バリヨヌエボ・キリストバル

イエズス会

Fr. アルバレス・アルベルト

イエズス会

Fr. ベルタニョリオ・ルチアノ

カルメル会

Sr. 長 康子

援助修道会

Sr. 天野洋子

援助マリア修道会

Sr. 梶 幸子

ナミュール・ノートルダム修道女会

Sr. 鈴木恵子

《銀祝》

広島教区

Fr. 原田豊己

援助マリア修道会

Sr. 久保みどり

援助マリア修道会

Sr. 朝廣絹子

カルメル会

Sr. 小林きよみ

溝部脩司教講演会
(高松教区教区長/カトリック司教協議会・殉教者列福調査特別委員会委員長)

殉教者に見る信仰のあかし
—殉教者を想い、今の信仰を生きる—

と き: 5月19日(土)
14:00~16:00
ところ: 岡山カトリック教会 聖堂
主催: カトリック広島教区
岡山鳥取地区宣教司牧評議会
広島教区殉教地・巡礼地ネットワーク

広島教区内司祭異動のお知らせ

《イエズス会》(カッコ内は旧職、異動は復活祭後)	
山根敏身神父	祇園教会主任(祇園教会助任)
ホアン・カトレット神父	祇園教会助任(エリザベト音大)
松井紀直神父	祇園教会助任(麹町教会助任)
恩地誠神父	周南地域チームミニストリー徳山、下松両教会担当(海外研修)
アルティリオ神父	周南地域チームミニストリーモデラトル(周南地域チームミニストリーメンバー)
ドメニコ・ヴィタリ神父	東京麹町教会主任(周南地域チームミニストリー)
三宅秀和神父	出雲教会助任(教会司牧研修)
ホセ・ミゲル・バラ神父	益田教会主任(山口教会助任)
ルイス・カンガス神父	山口教会助任(祇園教会主任)
キリストバル・バリヨヌエボ神父	岩国教会主任(益田教会主任)
ヨセフ・メディナ神父	福岡修道院(岩国教会主任)
《淳心会》(カッコ内は旧職、異動は復活祭後)	
バンガンスベルグ・ギルベルト神父	職町教会共同宣教司牧チームモデラトル(職町教会助任)
レクダク・ゲラドウス神父 (ジェリー神父)	職町教会共同宣教司牧チーム司祭(岡山教会共同宣教司牧チーム)
ブイナ・ブレース助祭	倉敷地域共同宣教司牧チーム助祭(倉敷教会在)
《教区司祭》(カッコ内は旧職、異動は復活祭後)	
澤野耕司神父	休養(職町教会主任)
豊田尚臣神父	岡山教会共同宣教司牧チーム司祭(司教館付き)
金炫勇神父	釜山教区内(職町教会助任)
姜祐顕(カン・ウー ヒュン) 神父	広島司教館在【日本語研修】(釜山教区)
尾島紀代治神父	倉敷教会在(予定)(サンパウロ大司教区)

広島司教区行事および司教日程表	
4月	4日(木) 聖香油ミサ(カテドラル) 15:00 8日(日) 復活の主日ミサ(カテドラル) 9:30 10日(火) 司教顧問会議 14:00 29日(日) 山口教会 公式訪問・堅信式 山口サビエル記念聖堂献堂記念日 9:30
5月	1日(火) 司教顧問会議 14:00 3日(木) 乙女峠まつり 19日(土) 岡山教会 殉教祭 20日(日) 岡山教会 公式訪問 9:00 27日(日) 聖霊降臨の主日 職町教会 公式訪問・堅信式 9:30
6月	3日(日) 笠岡教会 公式訪問・堅信式 9:30 3日(日) 教区司祭黙想会(於:インファンタ) ~8日(金) 10日(日) 小野田・北若山教会 公式訪問 ミサ9:00 12日(火) 司教顧問会議 16:00 13日(水) 司祭評議会 10:00 17日(日) 司教叙階記念と金銀祝ミサ 14:00 (カテドラル・広島地区担当) 18日(月) 定例司教総会 ~22日(金) 24日(日) 廿日市教会 公式訪問・堅信式 9:30 29日(金) カトリック幼保大会ミサ 17:00 (岡山ロイヤルホテル)
7月	1日(日) 米子教会 ミサと堅信式 9:30、境港教会ミサと堅信式14:30 8日(日) 高千帆教会 公式訪問・堅信式・集會司式任命式 9:00 10日(火) 司教顧問会議 14:00 14日(土) 淳心会ブレース助祭の司祭叙階式 14:00(於:倉敷教会) 22日(日) 柳井教会 公式訪問 11:00 29日(日) 宇部教会 公式訪問・堅信式・集會司式・聖体奉仕者の任命 9:00
8月	5日(日) 平和行事 ~6日(月) 9日(木) 教区錬成会(於:東広島教会) ~11日(土) 15日(水) 聖母の被昇天の祝日ミサ(カテドラル) 10:00

海峡からの風6

下関労働教育センターだより

●〇六年一月、寒風に煽られた下関駅は焼け落ちた。構内で暖をとっていたホームレスの老人男性が、駅員から退去させられたことによる放火だった。●センターで開催した市民フォーラムで、NPO北九州ホームレス支援機構のMさんは語る。中学生による襲撃事件があり、Mさんらは学校でホームレス問題を学習して欲しいと申し入れに行った。しかし犯人探しに固執する教師たちに、襲われた野宿者が「あの子どもたちも帰る家のないホームレスだな」とつぶやいたという。●先日センターの視察に来館したS神父も東京で野宿者支援をしている。石を投げってくる若者に野宿者が話しかけに行くと、翌日には一緒にボランティア活動に参加しているという。実は同じ寂しさや、悲しみを抱いている仲間だったことが解り合えるのだと。●

「家がなればハウスレスです。『ホーム』は人と人との関係性を表しているのではない。人と人との関係を築かないといけない」と語るMさんや、S神父の話にイエズスの後ろ姿が重なる。●当時のユダヤ社会が分断した人々、特に「罪人」とされた人々との関係の再構築に、どれほどイエズスが心を砕いて行動したか、それを私たちは「福音」として知っている。排除は何も解決しないどころか大切なものも失ってしまいかも知れない。思い出がまった「わが家」ホームのような駅舎をなくしたように。●四月に市内でホームレスの自立を支援する施設がオープンすることになり、ボランティア希望者への説明がセンターであった。「何かをしてあげるのではなく、一緒に作業することによって、社会から分断された彼らと、人との関係を作ってください」と。新しい関係の構築は「福音」であり「復活」ということでもある。

(細江教会・廣崎隆一)

♪ **アレルヤ、アレルヤ、神に感謝** ♪
 ♪ **アレルヤ、アレルヤ** ♪
 J・C・A・R・M 広島教区担当 春日 圭子

皆様、主の御復活のお喜びを申し上げます！全宇宙は喜びに溢れていますネ！竹の節のように巡り来る主の御復活ではありませんが、毎年その思いは異なっても何だか年の所為でしょうかと単純に信じモット日常的に喜べるようになって来た感じがしています。さて、先日「無犯罪証明」をして頂く為に「指紋押捺」というものを初めて致しました。長い間それで苦しんで、闘ってこられた方達の事を思い出さずには居られませんで

など全ての仕事を通して、これだけが根底にあればいいなと、単純に思っていました。皆様長い間J・C・A・R・M広島のために沢山の支援を有り難う御座いました。私は三月一杯でその任務を終えて、四月からは新しい担当者で出発いたします。これまでに変わりますが、これからも益々増える外国籍の方たちとの共生社会、福音社会を目指して働くJ・C・A・R・M広島のためにご協力、ご支援をどうぞ宜しくお願い致します。私も陰ながら、皆様とともに居て、心より感謝し、祈らせていただきます、ありがとうございました。

レオナルド木村
木村博明神父 帰天



広島教区の木村神父は、一月十三日にごんのために帰天。享年八十四歳。
 一九二二年広島市千田町

町教会（助任）の信徒の中川元江さんは「帰天前日は大相撲中継を見て、当日朝はお味噌汁のことで口喧嘩もして、夕べの鐘の鳴る時刻には神父様は駆け足でマリア様の所へ。残してくださった言葉は、ゆっくり、しつかり、まっすぐ、にっこり、皆さんのことをいつもいつも祈っています。でした」と思い出を語る。

生まれ。祇園教会で受洗し、東京カトリック神学院を卒業後、六十二年に叙階。観音町、三篠、廿日市、鞆町、三原、福山、尾道の

各教会の主任、助任又は共同司祭として働く。八十年から三年間尾道清心幼稚園園長。
 ほおのひげ、腰をかがめて歩くお姿、優しい語り口の中の厳しさとユーモアあふれるお話が印象的であった。最後の任地であった鞆

カトリックの雑誌 ⑥
『いづもせかい』

至光社の月刊カトリック保育絵本「こどものせかい」は一九五五年に創刊されて以来、全国のキリスト教幼稚園保育園などで宗教教育の一環として広く読まれております。絵本の世界に託して、福音の喜びを伝え、子どもの心が神さまと出会うことを願いながら絵本作りを続けてまいりました。

いっしょにお届けする小冊子「にじのひろば」は、園児のご家庭のみなさまにキリスト教への共感を自然に深めていただけるようにと、連載・特集の読み物、祈り、詩、絵本作者からのメッセージなどを載せております。

敏感な幼児期の子どもたちにとって、どれほど感性の豊かさが大切か―感動する心は生涯のたからものであり、絵本を楽しみながら豊かな感性を育めたらと願います。私どもが思う感性とは、それは魂に基づく感性であり、「子ども

ものようにならなければ天国に入れない」とイエスさまがおっしゃった、幼児の心そのままを追い求めております。幼児期の素直な魂が無邪気さのなかで、神さまに気がつく―そのための一粒の種をまくというカトリック保育のお役にたてればと望んでおります。

また、「魂で感じる絵本には国境がない」といわれますが、『こどものせかい』の絵本の多くは世界各国語に翻訳され、世界の子どもたちに親しまれ、また数多くの国際賞、国内賞の受賞も重ねてまいりました。画家のふつと感じたものが絵本となり、手にとられた読者の心につと寄り添う。そこには、言葉や国境の違いはないのですね。

「〇歳から一〇〇歳までのすべての子どもたちへ」おくる感性の絵本。これからも絵本だからできることを求めて、ゆっくりと歩んでまいりたいと思います。

美しさを無邪気に感じられる小径のはてに神さまとの出会いを求めながら……。

中ブロ

人から人への感情



分かち合いの様子

三月二十四日から二十七日、岡山のリートルダム清心女子大学一宮校舎で、第四十一回中国ブロッコックカトリック高校生大会が開催さ

れ、高校生約九十名が参加しました。今回のテーマは『人から人への感情』。テーマ学習では、感情について実習を交えながらのシスターのお話があり、普段何気なくしている人との対話が相手などの様な感情を与えているのかなど改めて気付かされました。また分かち合いで

は、テーマ学習をもとに感情や理性について話をしました。「感情って?」「理性って?」なかなか難しい内容でしたが、自分自身を振り返ったり、人と関わりと

この自分の感情を思い出したりして分かち合いを進めていきました。中ブロは毎年三地区のスタッフが交代で三つの役割をします。今回は岡山・鳥取が本部(大会の運営)、山口・島根が典礼、広島が

信じます。イエス様、あなたは全能の神です。あなたを礼拝します」と祈りましょう。毎日、六十分は神様の前に一人で出ましよう。祈るとい



典礼チームの劇

た。言は神と共にあった。言は神であった」(ヨハネ福音書一・一)と言われるとおりです。二、第二の実践…毎日、聖書通読(創世記から黙示録までを読み通す)に三分、励む。こうしてわたしたちは、パウロがテモテに論じたその道を、神様に向かつて、間違ひなくひた走ると確信できます。「信仰の戦いを立派に戦い抜き、永遠のいのちを手に入れなさい」(第一テモテ六・十二)



『主の名を呼び求める者はだれでも救われる。』

(ローマ書一・一〇)

イエズス会長東修道院 裏辻洋 二

復活祭の喜びのときに、教会はイエス様がキリスト救い主であると、高らかに宣言し、主の御名を賛美し、また感謝を捧げます。イエス様の苦難・十字架上の死・復活・昇天とおし

て、神の救いの御業が成し遂げられた。そのことをこの宣言・賛美・感謝をもって表明します。これこそは聖書の信仰の根幹です。ですからわたしたちは復活節に限らず、年中、この宣言・賛美・感謝を口に唱え、歌っていくのです。

一、第一の実践…「イエス様、あなたはキリストです、

一ヨハネ五・三)と使徒ヨハネは教えます。つまり神の言葉こそは、神御自身にほかなりません。「初めに言があっ

六・十二)

暖かな春の風にカテドラのしだけ桜も美しくゆれていきます。中ブロに参加して、高校生と一緒に人から人への感情について考えました。互いを思いやり理解すること、相手の立場に立って考えてみることに、そこから愛が生まれ、平和を創り出すことができるのだと改めて感じました。(よ)



少年の集い 乙女峠巡礼 五月二日 夜十時三十分 徳佐駅前集合 その後津和野まで徒歩巡礼 三日 乙女峠ミサ後解散 参加資格 小四から青年 参加費 八百円 申込み等、詳しくは各教会配布のチラシ参照のこと。



〈53〉